

360°ドライブレコーダー

DL-DVR 400



■ 「保証書」別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - お読みになったあとは、「保証書」と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 別添付の保証書には「お買上げ日・販売店名」などを必ず記入して保管してください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意（必ずお守りください）.....4~6
- 使用上のご注意（必ずお守りください）.....7
- 商品構成一覧表.....8
- 各部の名称と働き.....9

準備

- microSD カードについて.....9~10
- 本機の取り付け.....11
- リアカメラの取り付け.....12
- 電源オン／オフについて.....13
- モニター画面（タッチパネルスクリーン）.....14

操作方法

- 画面表示モード.....15・16
- 動画記録.....17～19
- 再生モード（ファイル再生／削除）.....20
- PC ビューワーについて.....21
- 設定メニュー.....22・23

その他

- トラブルシューティング.....24
- 仕様.....25
- お問合せ.....26

※本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品とは異なる場合があります。

※各画面写真は、はめ込み合成で、色および仕様等は実際の製品とは異なる場合があります。

※実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項



警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない



運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない



ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けたと、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない



走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリングシフトレバーブレーキペダルなどに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアース車で使用する

 DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

 あやまって、飲み込み恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

 バッテリーのマイナス端子  を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない



車載用以外(例えばジャージャーポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない



落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない



直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない



強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止



車載用以外には使用しない強い衝撃を与えない雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない



本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

警告

取付中はエンジンを切る



本機を取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態を取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

商品構成一覧表

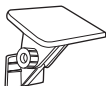
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

標準品

■ 本体



■ 取付ブラケット



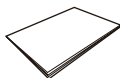
■ シガーアダプター



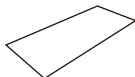
■ microSD カード (16GB)



■ 取扱説明書

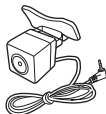


■ 保証書



オプション品 (別売)

■ リアカメラ



■ オリジナルステッカー



使用上のご注意

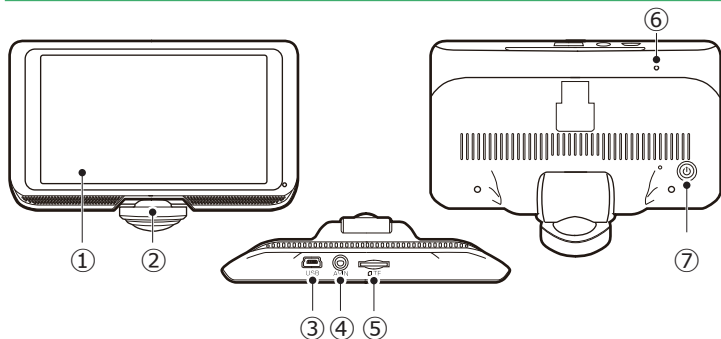
【1. シガーアダプターについて】

- 付属のシガーアダプターは車のソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲 (12V) を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。

【2. 取付ステー (ブラケット) の使用について】

- 付属の取り付けステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の動きを妨げないように取付ください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスを表面をきれいにしてください。ほこり、異物は両面テープに影響があり、落下・脱落の原因となります。

各部の名称と働き



- ①モニター画面 ②フロントカメラ・・・前向き／下向きに可動できます。
③電源ケーブル差し込み口 ④リアカメラ差し込み口 ⑤microSD カードスロット
⑥リセットボタン・・・本機の設定をリセットします。
⑦電源ボタン

電源オン／オフまたはスクリーンオフ（画面の表示／非表示）の操作ボタン。

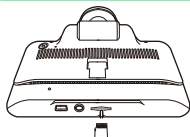
- ・約 3 秒間長押し：電源がオンになります。
- ・約 3 秒間長押し：電源がオフになります。
- ・短押し：スクリーンオフします。

microSD カードについて

以下の手順に従って、microSD カードの取り外しおよび挿入を行ってください。

⚠ 注意 記録ファイルの消失防止のため、別の記憶装置に定期的に保存をして下さい。

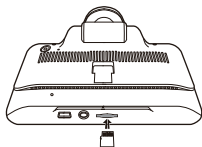
microSD カードを取り外す



本機の電源がオフになっていることを確認してから、カチッという音が聞こえるまでカードを押すと、microSD カードを取り外すことができます。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときに microSD カードを取り外すと、データの破損や本機の故障になる恐れがあります。また、microSD カードを取り出す際、飛びだすことがありますので、紛失にご注意ください。

microSD カードを挿入する



microSD カードの向きを確認して、カードスロットに差し込みます。カチっという音が聞こえるまで確実に差し込んでください。



警告 本製品の電源がオンになっているときに microSD カードを取り外すと、データーの破損や本機が故障になる恐れがあります。

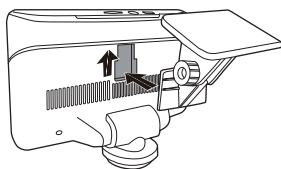
【microSD カードをご使用になる前に、次のことを確認してください】

- 付属の microSD カード（以下、カードと称す。）を使用してください。指定以外のカードを使用されると、データーの破損や記録ができない恐れがあります。
- カードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、カードの抜き差しをしないでください。
- カードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- カードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き本体の電源ボタンで、電源をオフにしてください。
- 必ず本体の動作が消えたことを確認してから、カードを取り出してください。
- 動作が点灯している状態でカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予め、パソコン等にバックアップをすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるカードのデーター消失やその他の損害が発生した場合、弊社として責任を負えません。
- 思わぬ故障や破損等によりデーターが消失する可能性がありますので、定期的なデーターのバックアップをお勧めします。
- 市販のカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しがしにくい場合があります。
- 本機は、8GB ～ 32GB(Class6 以上～ Class10) の microSD カードに対応しています。但し全てのカードの動作を保証するものではありません。※推奨 = 16GB ～ 32GB
- UHS-I 規格の製品は、Class10 互換を謳っていても動作しない場合があります。また、UHS-II や U3 規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。
- カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- カードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- 重大な事故などで電源が断たれた場合には、撮影ができなくなります。またカードに記録されているデーターが破損してしまう可能性があります。
- あらゆる事象において破損、消失したデーターの復旧サービス等は行っておりません。但し、全てのカードの動作を保証するものではありません。
- カードの定期的なフォーマットをお勧めします。フォーマットしないと正しく録画できない場合があります。※推奨 1 カ月

本機の取り付け

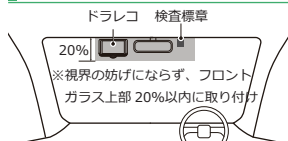
以下の手順に従って、本機を正しく取り付けをしてください。

取り付けブラケットの取り付け



本機の背面にある凹部分とブラケットの凸部分を合せて、ブラケット上方にスライドしながら固定します。※本機とブラケットを確実に取り付けてください。

推奨取り付け位置



フロントガラスの中央部（ルームミラーの後方）に設置すると最適な映像を撮影することができます。※中央部に設置できない場合は、映像が片方による場合があります。

※運転手の視界を妨げない位置に設置して下さい。

取り付け

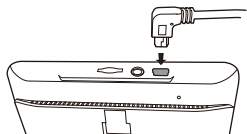


取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油分をきれいに取り除いてください。ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスへ取り付けます。モニター画面を確認しながら、本機の角度を調整します。

警告

- ※固定力を強くするために、本体を取付後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ※貼り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります。
- ※取付ステーのジョイント部に無理に力を入れないでください。破損することがあります。
- ※確実に装着していないと走行中に脱落する場合があります。

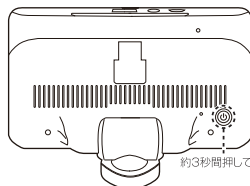
電源ケーブルの接続



エンジンがオフになっていることを確認してから、電源ケーブルを本機の端子に接続します。リアカメラを取り付ける場合は、リアカメラ入力端子へ接続します。

電源オン／オフについて

電源をオンにする



手動操作

電源ボタンを約 3 秒間押してから離すと、電源オンになります。

エンジン連動

エンジンを始動すると本機が電源オンになります。



注意 電源をオフにしてからシステム起動まで数十秒かかります。

電源をオフにする



手動操作

電源ボタンを約3秒間押しままにすると、電源オフになります。

エンジン連動

エンジンを停止すると、左図のようにモニター画面にメッセージが表示されます。

メッセージ表示されている時に、約 10 秒間操作しないと、選択されている操作が実行されます。「取り消し」をタッチすると約 1 分後に再度メッセージ表示されます。

スクリーンオフ

モニター表示されている際に、電源ボタンを短押しすると、画面がスクリーンオフとなります。再度、電源ボタンを押すか、モニター画面をタッチすると、画面が再度表示されます。



注意 録画中にスクリーンオフ（画面非表示）にしても、録画は継続されます。

【製品使用上の注意事項】

●エンジン連動 ON 機能について

本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。また、充電不足もしくは長期間、本機をご使用にならなかった場合は、通電を行い、充電をするようにお願いします。

● アイドリングストップ車での電源 OFF について

アイドリングストップ車で本機をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで本機の電源が OFF となる場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

モニター画面（タッチパネルスクリーン）

モニター画面にタッチすることで、様々な操作が可能となります。

映像表示されているときにモニター画面にタッチすると、約 10 秒間メニューバーが表示されます。

メニューバー表示内容



- ①動画撮影
- ②静止画撮影
- ③再生メニュー
- ④設定メニュー
- ⑤画面表示モードメニュー
- ⑥バッテリー残量
- ⑦日付時刻

メニューバー（録画中）表示内容

録画中はメニューバー表示内容は以下となります。

- ①録画中アイコン（赤く点灯します）

※アイコン内の数字は、1 ファイルあたりの録画時間

※録画中にタッチすると、録画を停止します。



- ②静止画撮影
- ③タッチするとアイコンがオレンジ色になり、録画中のデータを約 12 分間ロックします。
※自動で上書きされないファイルとして保存します。
- ④画面表示メニュー
- ⑤録画中アイコン
※ファイルロック中は SOS アイコンが表示されます。

画面表示モード

4つの画面モードを選択することができます。

表示モード



ワイドアングルモード

カメラを前向きにして、フロント方向を広角で撮影します。



球面モード

カメラを下向きにして、フロント方向を円形に撮影します。



フロント＆バック

フロントおよびバック（リア）方向を上下2分割にして表示します。



マルチウィンドモード

全方位の撮影範囲を、前後左右に4分割にして表示します。

画面表示モード

画面表示モードの切り替え

録画中や録画停止中、記録ファイル再生中に、画面表示モードを切り替えることができます。モニターにタッチしてメニューバーを表示し、 アイコンをタッチすると画面モード選択メニューが表示されます。

画面操作

画面の回転

モニター画面をスワイプすると、画面表示を回転させることができます。

全画面表示

フロント＆バックおよびマルチウィンドウモードでは、画面をダブルタッチ（素早く2回タッチ）すると、タッチした画面が全画面で表示されます。

元の画面に戻すには、再度画面をダブルタッチします。

リアカメラの表示（オプション）



オプションのリアカメラを取り付けることで、リア映像を画面に表示することができます。

※画面右側のウィンドウにリアカメラの映像が表示されます。

リア映像が表示されているワイプ画面にタッチすると、リアカメラの映像が全画面表示に切り替わります。

注意 リバース線接続時にリバース（R）ギアを入れ、バックランプが点灯すると、リアカメラ映像が全画面に表示されます。また、車両周辺のガイドラインが表示されます。

※リアカメラが写しだす範囲内には限界があります。リアカメラの映像だけを見ての後退は、絶対に行わないでください。後退する時には、直接目視で後方を確認しながら行ってください。

※リアカメラの映像は、表示モードの変更や画面表示の回転はできません。

※ガイドラインについては、実際の車幅や距離間隔と異なる場合があります。

※暗い場所や夜間など、使用状況によっては画質が低下する場合があります。

※設置については、販売店または専門業者におたずね下さい。

動画記録

撮影データのファイル構成

本機で撮影された各データは、microSD カードに保存されます。

動画データは、常時録画の設定時間毎に分割され、microSD カードの容量の上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをお勧めします。

※常時録画時間の設定方法については、「P22 設定メニュー」を参照ください。



注意 Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像やロックファイルされたデータは保護ファイルとして保存され、自動で上書きされません。

ロックされたファイルが増えると、通常録画で保存される空き容量が減少しますので、必要に応じてファイルを削除してください。

※ファイル削除方法については「P20 再生モード（ファイル再生／削除）」を参照ください。

動画撮影方法

自動撮影

自動録画モードをオンに設定しているときは、電源オンで本機が起動すると、自動的に録画を開始します。

※自動録画モードのオン／オフについては、「P22 設定メニュー」を参照ください。

手動撮影

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、 アイコンをタッチして撮影を開始します。

アイコンがオレンジ色に切り替わり、画面左上に録画中アイコンが点滅します。

動画撮影停止方法

画面モニターにタッチしてメニューバーを表示し、 アイコンにタッチすると、動画撮影が停止され、画面左上の録画中アイコンが消えます。



注意 アイコンに表示される数字は、設定した 1 ファイルあたりの記録時間によって異なります。

※記録時間の設定は、「P22 設定メニュー」常時録画を参照ください。

動画記録

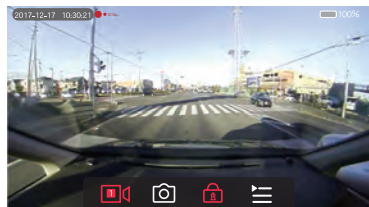
静止画撮影

カメラアイコン

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、 アイコンをタッチします。表示されている映像を静止画撮影します。 ※録画中でも撮影できます。

ファイル保護（ロック）

カギアイコン



録画中ファイルをロックする

- 録画中に画面モニターをメニューバーを表示し、アイコンをタッチします。
- アイコンがオレンジ色の表示に切り替わり、動画ファイルをロックします。

- 撮影した動画ファイルを保護し、自動的にファイルが上書きされないよう保存することができます。約 1 2 秒間ファイルを保護し、通常録画に戻ります。

衝撃感知録画

- 録画中、衝撃を感知すると衝撃感知機能が作動し、録画中のファイルとは別に、感知後から約 1 2 秒間の録画ファイルを保護し記録します。

※衝撃感知機能は、本体のみで働きます。オプションのリアカメラでは、その機能は働きません。

動画記録

駐車監視モード

エンジンを停止して本機の電源がオフになった後でも、衝撃を感知すると感知後の映像を録画することができます。

駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護されます。



駐車監視モードを作動させる

- 電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に左図の操作メニューが表示されます。
- 駐車監視を選択すると、画面が消え、約 1 分後に駐車監視モードが、作動します。

- 駐車監視モード作動中に、衝撃を感知すると、感知後の映像を約 1 2 秒間録画し、その後、再び駐車監視モードに戻ります。

⚠ 警告 駐車監視モードは内蔵バッテリーで作動します。その為、バッテリーが減ると駐車監視モードを停止します。

⚠ 注意 駐車監視モードが作動すると、「ビーン」という BEEP 音が鳴動します。音声設定で消音しているときは、この BEEP 音は出ません。

- ※ 音声録音設定については、「P22 設定メニュー」を参照ください。
- ※ 満充電の状態で、約 50 回の録画が行われた場合で、約 5 時間程度の録画が可能です。
- ※ バッテリーの状態によって、駐車監視モードの稼働できる時間が変動します。

駐車監視モードからの復帰

- ・ エンジンを始動すると、通常録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。

⚠ 注意 自動録画モードがオフに設定されている場合でも、駐車監視モードから復帰したときは自動で録画開始されます。

- ※ 自動録画モードについては、「P22 設定メニュー」を参照ください。

再生モード（ファイル再生／削除）

撮影した動画もしくは静止画ファイルを本機で再生できます。 P14③再生メニュー

ファイル選択



フロントカメラ
(本機で撮影した動画)



リアカメラ
(オプション品で撮影した動画)



フロントカメラ
(本機で撮影した静止画)

- 画面をタッチしてメニューバーを表示し、再生メニュータッチすると上図が表示します。
- 撮影したカメラの種類を選択します。(下図参照)
- 表示されたファイルをタッチします。



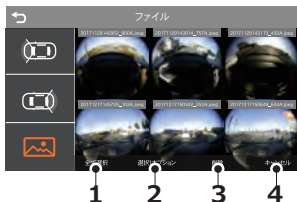
動画再生画面

1. 一つ前の動画を再生
2. 再生／一時停止
3. 次の動画を再生
4. 画面表示メニューを表示
5. 全画面に戻る



静止画表示画面

1. 前の静止画面を表示
2. 次の静止画を表示
3. 画面表示メニューを表示
4. 前画面に戻る



動画／静止画の削除

削除したいファイルを長押しすると削除メニューが表示されます。

1. 全てのファイルを選択
2. 選択しているファイルの数
3. 削除の決定
4. キャンセル

PC ビューワーについて

専用のアプリケーションを使用すると、録画した映像を PC 上で様々なアングル表示再生ができます。

PC 動作環境

PC ビューワーを実行するための動作環境は以下の通りです。

- OS: Windows 7 以降 (64 ビット推奨)
- CPU : Intel Core i5 以降
- メモリ : 4GB 以上
- その他 : DirectX9.0 以降 / Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

※Mac には対応していません。

※全てのパソコンについて動作保証をするものではありません。

※お使いになるパソコンの処理能力環境により、正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

PC ビューワーのインストール

PC ビューワーのインストールファイル (VeSee_setup.exe) は、本機でSDカードをフォーマットすると microSD カードのルートフォルダに保存されています。

手順に従い、PC ビューワーソフトをパソコンへインストールしてください。

- PC に microSD カードを挿入します。
- インストールファイル「VeSee_Setup.exe」を起動し、インストールウィザードの手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、PC 内に「VeSee」フォルダが作成されます。
- アプリケーション「VeSee.exe」を開いて、PC ビューワーを表示します。



1. プレイリスト表示
2. 再生/停止
3. カメラの向きを変更
4. 前後2画面モード
5. マルチアングルモード
6. ワイドアングルモード
7. ボリューム調整
8. ファイルの選択

設定メニュー

本機の各種設定（撮影記録設定／システム設定）を行います。

設定メニュー



○モニター画面にタッチしてからメニューバーを表示し、アイコンにタッチすると、本機の設定メニュー画面が表示されます。

◎設定別項目の **記録** または **システム** をタッチして、設定したい項目の設定値を選択します。



記録

1. 常時録画

通常録画時に保存される1ファイルあたりのループ記録時間を「1分」「2分」「5分」から選択します。

2. Gセンサー・衝撃感知モードが作動する感度設定をします。

低：低感度。（強い衝撃で作動）
中：通常の感度
高：高感度。（弱い衝撃で作動）

3. フリッカレス・地域により周波数を選択します。

50Hz：東日本 60Hz：西日本

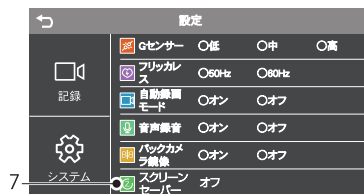
4. 自動録画モード ※必ず設定を！ 本機の電源をオンにしたときに、自動で録画が開始されるモードのオン／オフを選択します。

5. 音声録音

録画中の音声録音のオン／オフを選択します。

6. バックカメラ映像

*リアカメラの映像を鏡像に表示する設定のオン／オフを選択します。



7. スクリーンセーバー・スクリーンセーバーの設定時間を「1分」「2分」「5分」「オフ」から選択します。

設定メニュー



※画像はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

明るさ設定: モニターの明るさを設定可能です。Aマークをタッチして緑にするとオートになります。

【システム】

1. 言語設定

表示言語を、日本語・中国語・英語から選択します。

2. 音量設定

スライダーを操作して、録音時の音量および本機の操作音を設定できます。消音にする場合はスピーカーアイコンをタッチします。

3. 日時設定

日付または時刻にタッチして日時設定を行います。

4. システム設定

フォーマット: microSD カードに記録されたファイルを全て削除します。

※保護ファイルも削除します。

工場出荷設定: 本機の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

5. バージョン

ファームウェアのバージョンが表示されます。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す場合に、まず下記の項目を試してください。それでも、改善されなかった場合は、販売店または発売元へお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
本機の電源が入らない (エンジンを停止したとき、 または本機が作動している とき、直ぐに電源がオフに なってしまう。)	・シガーケーブルや接続ケーブルはしっかりと接続されていますか？ ・各種ケーブルの断線がないかを確認してください。 ・本機の電源端子が外れていませんか？ ・本機の内蔵バッテリーの充電がないと、駐車監視モードが正常に起動できません。しばらく充電を行ってください。
異常動作	リセットボタンを押して、本機を再起動してください。
記録された動画、静止画が 表示されない、または壊れ ている。	・microSD カードをフォーマットしてください。 ・新しい microSD カードに差し替えてください。
記録ができない	適切な microSD カードを挿入してください。
再生の際、音が出ない。	音声設定の音量を確認してください。
常時録画ができない。	保護ファイルが microSD カードにたくさん保存されている可能性があります。不要なファイルを削除して下さい。
タッチパネルが操作で きない。	システムエラーの可能性があります。リセットボタンを押して、本機を再起動してください。
液晶画面が表示しない。	画面が非表示になっていませんか？画面をタッチするか、電源ボタンを押して下さい。

【内蔵バッテリー（リチウム電池）について】

- 内蔵バッテリーには寿命があり、消耗品となります。
- 内蔵バッテリーは消耗に伴い膨張する場合があります。これはリチウム電池の特性であり、安全上問題ではありません。
- 内蔵電池の膨張による故障と判明した場合、保証対象外として修理できないことがありますので、予めご承知ください。なお、保証対象外のため、修理可能な場合であっても有償修理となります。
- 安全のため、+60℃以上では内蔵バッテリーは使用できません。

【リアカメラについて】

本製品専用のリアカメラをご使用ください。弊社製品以外のリアカメラに接続すると、正像／鏡像表示が逆になりますので、ご注意ください。また、その他の製品（他社製品含む）に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。

仕様

〈付属〉

型番	RLDVR-400	
商品名	360°ドライブレコーダー	
記録媒体	microSD/SDHC カード（8G～32GB）※ Class10 以上	
カメラ	映像素子 視野角（レンズ画角）	CMOS センサー 1/3 型 水平 360°/垂直 220°
記録解像度	動画 静止画 有効画素数	1440×1440（約 200 万画素） 約 300 万画素 約 300 万画素
録画ファイル構成	1 分 / 2 分 / 5 分	
録画サイズ	4.5 インチタッチパネル液晶	
マイク	高感度マイク内蔵	
フレームレート	24fps	
スピーカー	1 W 8 Ω 1 個	
音声設定	設定可能	
記録方法	常時録音 G センサー（衝撃感知）録画 静止画撮影 駐車監視モード（衝撃感知録画）	
ファイル形式	動画：H.264（mp4） 静止画：JPEG	
映像外部入力	専用リアカメラ入力（Φ2.5 ミニジャック）	
記録映像再生方法	PC 再生専用ビューワソフト（Windows7 以降）	
再生画像分割表示	フロントワイドアングル／球面／フロント＆バック（②画面） ／マルチウィンドウ（4 画面）	
電源	電源ケーブル USB 付き電源ケーブル（3.5m）同梱ヒューズ 3 A	
使用電圧	DC12V / 24V	
寸法	129.5(W)×77(H)×18.5(D)mm（突起部除く）	
重量	約 156g（カメラ本体）	
動作温度範囲	-10℃～+60℃	

※付属品や別売品の追加購入につきましては、お買上げの販売店にてご注文ください。

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

予め、ご了承ください。

—初期不良保証について—

期間：商品受け取り後、**8日以内**。

対象：ドライブレコーダー本体・リアカメラ及び配線・付属品(吸盤スタンド・シガー充電器)

対応：受け取り後、**8日以内**に動作確認をお願いします。製品に不良が見つかった場合は、
無償にて交換対応致します。初期不良品は同等品と交換となります。受け取り後、8
日以内に必ず販売元に連絡してください。また、輸送上の破損・傷物・不良品の場合
はすぐに販売元にご連絡の上、商品到着後 9 日以内に着払いにてご返送ください。

交換対応が可能な場合は、返品等は一切お受けできません。返品キャンセルについてお客様
都合による返品キャンセル・交換は一切お受けしておりません。

下記の場合、初期不良としてお受けできないことがあります。

- * 商品到着後、9日以上経過している場合。
- * 開封され一度ご使用になった商品（購入後、8日以内を超えて使用）。
- * お客様の元でキズまたは破損が生じた場合。

—お問合せ先—

〔輸入元〕 株式会社 TK サービス



〒665-0822 兵庫県宝塚市安倉中 5-23-7-102

TEL：0797-75-8580（お問い合わせは平日 10時から 17時まで）

FAX：0797-75-9150（FAX は 24 時間受け付け）

Email：tk-service@office.zaq.jp

（メールは 24 時間受け付けています。ご返信は順次行っておりますが、2～3 日かかる場合
があります。）

12か月保証について

本製品は、当社において厳重な品質管理の元に検査され合格したのですが、万一ご購入後
12ヶ月間以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任を持って無償
修理を致します。別添付の保証書の内容を必ずお読みください。

保証期間中の対応について

保証書を添えてお買い求めの販売店までにご持参またはご送付いただきます。

12ヶ月間の保証を受け修理交換する場合は、往復配送費用はお客様のご負担となります。

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証書

お名前 _____ 様

ご住所 _____

お買い上げ日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

販売店名 _____

保証期間 _____ お買上げ日より1年間



【輸入元】株式会社TKサービス

〒665-0822 兵庫県宝塚市安倉中 5-23-7-102

TEL: 0797-75-8580 (お問合せは平日10時から17時まで)

FAX: 0797-75-9150 (FAXは24時間受付)

E-Mail: tk-service@office.zaq.jp

保証書について

本製品は、当社において嚴重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご受け取り日より12ヶ月間以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。

■保証期間中の対応について

保証書を添えてお問い合わせの販売店までご持参またはお送りいただきます。お電話にて必ずご連絡の上、修理交換依頼をお願いします。

12ヶ月間の保証を受け修理交換する場合は、往復配送費用はお客様のご負担となります。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

※付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応（受取り日より8日間）。（ブラケット・シガーDC充電）

■下記の場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。不適合のメモリーカードを使用しソフトウェアが破損した場合。

②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。

③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。

④本保証書のご提示がない場合。または、本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■修理にお出しいただくときには、問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現についてお判りになる範囲で、できるだけ詳しくお書きください。また必要なファイルは、あらかじめお客様にてバックアップを必ずされるようお願いいたします。お預かりしたデータの保証はいかなる場合もできません。

■保証期間が過ぎているときは、お問い合わせの販売店にご相談ください。

■検品依頼については、事前にお電話にて必ずご連絡の上、検品依頼をお願いします。

本製品の設置

次の手順で本製品を正しく設置してください。

■ ブラケットの取り付け

1. 本製品背面の凹部とブラケットの凸部を合わせます。
2. ブラケットを上方にスライドしてカメラ本体に固定します。

■ 設置位置の選定

運転手の視界を妨げず、自動車の前部がすべて映像として記録できる設置位置を選んでください。ルームミラーの左右にずらして設置した場合も、映像は全方位で記録されるため、死角の少ない映像を撮影することができます。

■ 本製品の固定

1. 設置位置を決めたら、乾いた布でフロントガラスの設置位置を拭きます。
2. ブラケットから保護フィルムをはがして、ブラケットを設置位置に貼り付けます。
3. 画面の映像を確認しながら、本製品の角度を調整します。

- 警告 -

ブラケットにしっかりと固定されていない場合、本製品が運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。

■ 電源ケーブルの接続

- 警告 -

車両への、リアカメラ接続ケーブルや常時接続ケーブル（オプション）の配線 / 取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください

1. エンジンとアクセサリ電源がオフになっていることを確認してください。

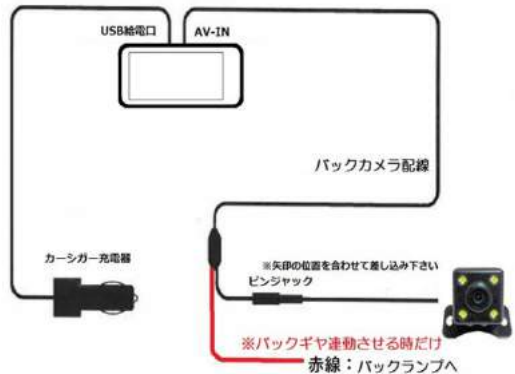
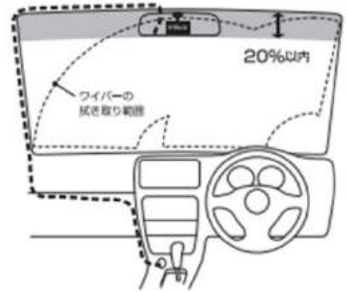
2. 電源ケーブルを本製品の電源端子に 接続します。

配線図

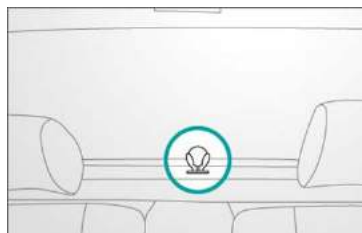
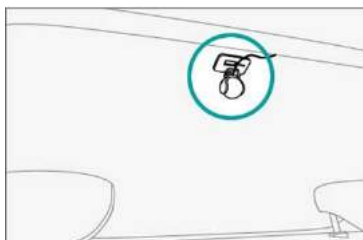
3. リアカメラを取り付ける場合は、リアカメラ接続ケーブルをリアカメラ入力端子に接続します。

- 危険 -

- ・電源ケーブルは同梱品を使用してください。付属品以外の電源ケーブルを使用した場合は本製品が損傷し、電圧差による電気火災や感電死の恐れがあります。
- ・お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。
- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。



カメラ取付 見本図



MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

